

令和6年度第1回大阪市地方独立行政法人大阪市博物館機構評価委員会 議事要旨

1 日 時：令和6年8月2日（金）午後2時00分～午後3時30分

2 場 所：大阪歴史博物館 4階 第1研修室

3 出席者：

【委 員】 栗原委員、島委員、高瀬委員、谷村委員

【大阪市】 経済戦略局 岩田文化部長、平野博物館支援担当課長、
小川博物館支援担当課長代理 他

4 議 題：

(1) 令和5事業年度の業務実績に関する自己評価及び評価結果（案）について

(2) 第1期中期目標期間の業務実績に関する自己評価及び評価結果（案）について

5 議事要旨

(1) 令和5事業年度の業務実績に関する自己評価及び評価結果（案）について

法人及び大阪市から説明を行った後、小項目評価・中項目評価について質疑・審議が行われ、評価委員から意見の申述をいただいた。

[主な意見]

- ・(小項目 11, 25) 展覧会について、来館者数など数字的な面だけでなく、工夫した点なども評価すべき。
- ・(小項目 12) コレクションを活用した自主企画展なども重要な取り組みである。
- ・(小項目 24) 広報の効果について、従来型のは効果が薄くなってきている。ユーチューブやSNSなどの効果が高い。また、駅の広告も効果が高い。
- ・(小項目 25) 特別展について、マスメディア発信のものもあれば館発信の自主企画展もある。魅力的な自主企画展について、第2期に向けてもっと評価してはどうか。
- ・(小項目 33) ミュージアムショップやグッズ等は館の魅力発信につながる重要な要素なので、博物館機構全体として検討すべき。ミュージアムショップについて、お土産物屋のようなものではなく、博物館としての資料や館のオリジナルグッズなどもなくてはならない。
- ・(小項目 41) ボランティアやNPOの活動の参画について、今後、企業の社外活動など、様々な人々を取り込んでいくことが重要である。
- ・(小項目 50) 職員のスキルアップについて、マーケティングやSNSによる情報発信などの研修も必要ではないか。
- ・(小項目 61) 国立館においてはユニークベニューと科研費の確保が収入確保における重点的な取り組みとなっている。また、成果に応じた各館へのインセンティブなどを導入してはどうか。
- ・(小項目 62) 寄附金の獲得について、資金提供をしていただく方の心をどうつかむのが重要である。資金使途の打ち出し方が重要である。

(2) 第1期中期目標期間の業務実績に関する自己評価及び評価結果（案）について

大阪市から説明を行った後、第1期中期目標評価について質疑・審議が行われ、評価委員から意見の申述をいただいた。

[主な意見]

- ・博物館等を運営する日本初の地方独立行政法人として、成果や課題の振り返りが重要である。
- ・単純に来館者数を増やすということだけではなく、どのような方々にどのように来てほしいのか、子ども達にどのようなものを残すのか、館としてどのような将来の姿をめざすのかということも明確化しておくことが重要である。
- ・コロナ後の増加したインバウンド観光客への多言語対応など、多様化する来館者への対応状況についても評価すべき
- ・第2期中期目標期間に向け、6館全てが開館する体制が整う中で地独化のメリットを最大限に活かし、6館がより密に連携するような取組みを進めることが重要である。

6 会議資料

- 資料 1 令和5事業年度の業務実績にかかる小項目評価（案）
- 資料 2 第1期中期目標期間の業務実績に関する評価結果（案）
- 参考資料1 令和6年度評価委員会審議スケジュール
- 参考資料2 令和5事業年度にかかる業務の実績に関する評価結果（案）小項目評価
- 参考資料3 令和5事業年度にかかる業務実績にかかる小項目評価（案）一覧
- 参考資料4 地方独立行政法人大阪市博物館機構 令和5年度 財務諸表
- 参考資料5 地方独立行政法人大阪市博物館機構 令和5年度 決算報告書
- 参考資料6 地方独立行政法人大阪市博物館機構 令和5年度 事業報告書
- 参考資料7 地方独立行政法人法（抄）、
大阪市地方独立行政法人大阪市博物館機構評価委員会条例（抄）
- 参考資料8 年度別観覧者数の推移